

がんばら！！

赤十字奉仕団情報誌 NO. 20

平成23年度号



- ・ アルビレックス新潟との地域貢献パートナーシップ
- ・ 青少年赤十字新潟市地区下越トレーニングセンター

(ホームゲームのハーフタイムにおける赤十字PR活動)

2011.12.3 名古屋グランパス戦

目次

P.1 目次

P.2 奉仕団活動報告

○東日本大震災

○平成23年新潟福島豪雨災害

P.5 新潟県支部主催研修会 開催報告奉仕団活動

○赤十字ボランティア基礎・リーダーシップ研修会

P.6 奉仕団活動報告

○第2ブロック支部青年赤十字奉仕団リーダーシップ研修会

○県内赤十字奉仕団の活動

P.8 編集者あとがき



奉仕団活動報告

○東日本大震災

平成 23 年 3 月 11 日 14 時 46 分、三陸沖を震源した地震により大津波が発生し、東北から関東地方の太平洋沿岸部に壊滅的な被害をもたらした。また大津波以外にも、液状化現象、地盤沈下などによって、広大な範囲で被害が発生し、各種ライフラインも寸断されました。また、地震と津波による被害を受けた東京電力福島第一原子力発電所では、全電源を喪失して原子炉を冷却できなくなり、大量の放射性物質の漏洩を伴う重大な原子力事故に発展しました。

赤十字ボランティアは、のべ 7 万人以上の赤十字ボランティアが活動しています。新潟県の赤十字ボランティアは、報告分で 30 以上の奉仕団、のべ 1,300 人以上が被災地支援活動や新潟県内に避難されてこられた方への支援活動を行いました。



○平成23年新潟福島豪雨災害

平成23年7月27日から30日にかけて、新潟県と福島県会津を中心に大雨となりました。特に、28日から30日にかけては、記録的な大雨となり、局地的に100ミリを超える猛烈な雨となりました。そのため、三条市下田地区では、川が決壊するなど、県内各地で土砂災害が発生しました。県内各地でボランティアセンターが開設され、県内外から多くのボランティアが活動しました。

赤十字安全奉仕団は、ボランティアセンターで一般ボランティアへの注意喚起や巡回指導を行いました。他にも赤十字ボランティアにより、救援物資の配布などを行いました。



新潟県支部主催研修会報告

○赤十字ボランティア基礎研修会

6月から7月かけて、赤十字奉仕団に加入して間もない人を対象に、“赤十字とはどんな団体なのか”“ボランティアって何をしたらいいのか”など、基本的な項目を学ぶために県内4地域を会場に開催しています。

100名以上の方に参加いただき、赤十字や奉仕団について学んでいただきました。

○赤十字ボランティア・リーダーシップ研修会

平成23年11月末に長岡市川口を会場に“赤十字奉仕団のリーダー”“よいグループ運営とはどういったものなのか”等を学ぶために、リーダーシップ研修会を開催しました。

毎年1回開催し、今年も県内全域から40名を超える奉仕団員に参加いただきました。



- ・救急法 グループ寸劇
- ・グループワーク「リーダーシップについて」

研修会は多くをグループで行う形式で行い、救急法では学んだ内容を寸劇にして発表し、大きな盛り上がりを見せていました。グループワークでは研修の題であるリーダーシップについて、様々な角度から話し合っていました。



奉仕団活動報告

○第2ブロック青年赤十字奉仕団リーダーシップ研修会

関東と山梨・新潟の青年赤十字奉仕団（学生や青年層の社会人で組織された奉仕団）の代表者が新潟市に集まり、“リーダーとは”“よいリーダーになるには”“救急法”など、グループワークを中心に研修会を開催しました。



○県内の奉仕団活動

胎内市で開催された新潟県総合防災訓練に奉仕団が参加しました。



参加奉仕団

【炊出し】胎内市赤十字奉仕団

【救急法体験】村上市・胎内市・新発田市の
安全奉仕団

新潟市で新潟市消防局を合同で「救急の日2011」を開催し、救急法の講習や赤十字PRを行いました。



編集者あとかき

平成23年度も残すところあとわずかとなりました。赤十字事業にご支援をいただき、ありがとうございました。

今年度は、東日本大震災の復興や新潟・福島豪雨災害など、日本国内で災害が多く発生した年でした。奉仕団のみなさまから災害時の対応をはじめ、被災された方への支援など多くの活動を行っていただき、その重要性を再認識する年になりました。

赤十字奉仕団の活動は、赤十字の基本原則にその活動する姿勢は、人間として、誰もが共鳴できる活動です。今年度は、新潟市江南区亀田地区に奉仕団が結成され、また、十日町市に無線奉仕団が結成されました。多くの方から赤十字に対する想い大きくなり、奉仕団の活動が広がっていくことが実感できた1年でした。

日本赤十字社新潟県支部は、昨年度に引き続きアルビレックス新潟と地域貢献パートナーとなり、ホームゲームなどの際に一緒に活動してきました。

地域に根差した活動を通じて、赤十字の活動を広め、奉仕団のみなさまとともに、人びとがつながり、生きがいを持てるような社会の構築し、赤十字の目指す人道の実現につなげていきたいと考えています。

私たち新潟県支部職員も人道の実現に全力を注いでまいります。奉仕団の皆様にもさらなるご支援・ご協力をお願いいたします。

日本赤十字社新潟県支部
事業推進課 間嶋祐樹

「がんば！！」編集局では皆さんからの情報をお待ちしています。
紹介したい活動がありましたら、原稿に写真を添えて新潟県支部までお寄せください。

また、取材へも是非お誘いさせていただきますので、ご連絡お待ちしております。

奉仕団情報誌「がんば」No.20

平成23年2月16日 発行

発行 日本赤十字社新潟県支部 事業推進課

〒951-8127 新潟市中央区関屋下川原町1-3-12

Tel. 025-231-3121 Fax. 025-231-3122

Mail. y-mashima@niigata.jrc.or.jp